



防除適期を逃さない! 新時代の省力防除剤

茶のクワシロカイガラムシ専用殺虫剤

パールート[®]MC

ピリプロキシフェンマイクロカプセル剤

有効成分：ピリプロキシフェン……………9.0%

人畜毒性：普通物



住友化学株式会社

防除時期を逃がさない！新時代の省力防除剤 茶のクワシロカイガラムシ専用殺虫剤



はじめに

ブルート[®]MCは昆虫成長制御剤ピリプロキシフェンを有効成分とする新しいタイプの茶クワシロカイガラムシ防除剤です。
クワシロカイガラムシの成虫越冬休眠期（1～3月）に1回散布するだけで高い密度抑制効果を示します。



特長



冬期の1回散布で防除適期を逃さない

クワシロカイガラムシの「成虫越冬休眠期」（茶の萌芽前、1月～3月）に1回散布するだけで、長期間効果を示します。
残効による「待ち伏せ型防除」ですので、幼虫の孵化時期を見極める必要がなく、防除適期を逃しません。また、忙しい夏場の散布作業から解放され、散布回数も削減できます。



クワシロカイガラムシ1齢幼虫
(写真提供：静岡県茶業研究センター)



抵抗性クワシロカイガラムシにも高い効果

有機リン剤やキチン合成阻害剤に対して抵抗性を獲得したクワシロカイガラムシに対しても高い防除効果を示します。



IPM（総合防除）に適合

茶害虫の天敵（寄生蜂など）にはほとんど影響がありません。
茶園に生息する土着天敵の保護・活用が可能です。



適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	散布液量	使用時期	総使用回数*
茶	クワシロカイガラムシ	1,000倍	1,000ℓ/10a	成虫越冬休眠期 (一番茶摘採45日前まで) 但し、萌芽前まで	1回

使い方：散布

*印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。



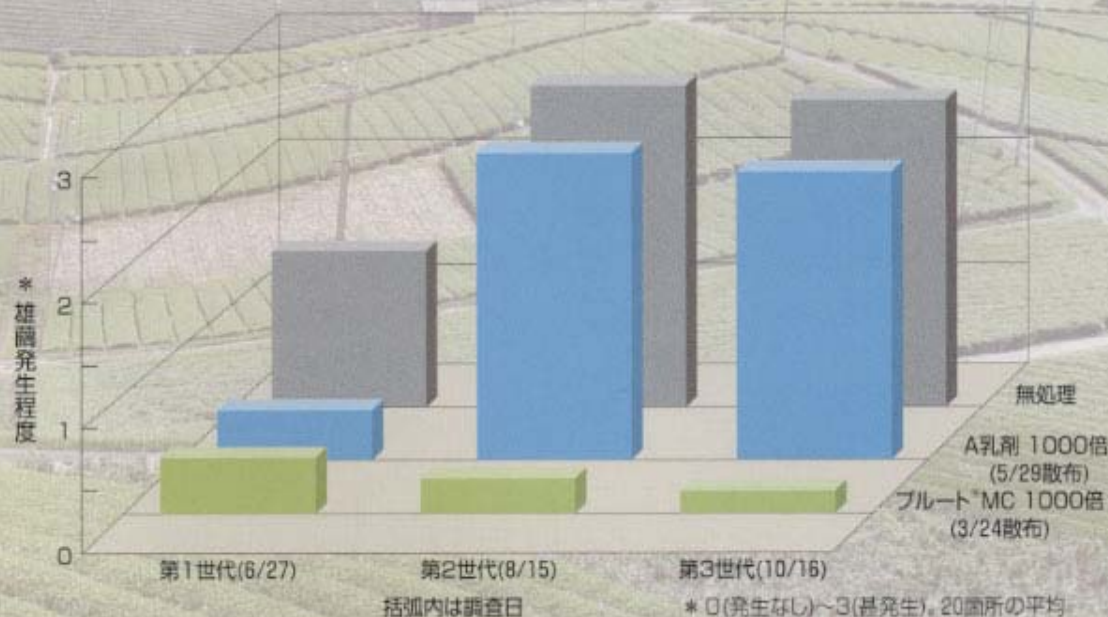
ブルート[®]MCの処理時期と効果発現時期

ブルート[®]MCはクワシロカイガラムシが成虫越冬している時期(1~3月)に処理しますが、成虫に対する殺虫効果はありません。このため、**成虫の吸汁による一番茶の生育阻害は防げません。** 孵化した幼虫が茶枝上を歩行する際にブルート[®]MCの作用を受けて、その後の成育が阻害されます。



防除効果

クワシロカイガラムシ/茶に対する圃場試験



■ 試験機関：日本植物防疫協会研究所(野菜茶業研究所協力)

■ 試験地：静岡県島田市金谷 農研機構野菜茶業研究所圃場

■ 散布日：ブルート[®]MC・・・2006年3月24日、A乳剤・・・同年5月29日

■ 耕種概要：品種 しゅんめい(樹齢14年生) 施肥管理は慣行による

■ 区制・反復：1区16.2㎡(1.8×9m)・反復3



使用上の注意事項

- ① 希釈倍数、散布液量、使用時期などを誤らないように注意し、クワシロカイガラムシ用ノズルなど、適切な器具を用いて、散布むらが生じないように処理してください。
- ② 浸透移行性がありませんので、散布後に伸長した枝上でクワシロカイガラムシが発生した場合は、適宜ほかの殺虫剤（登録薬剤）で防除して下さい。
- ③ 他の農薬、液肥、展着剤との混用は絶対にしないでください。本剤の成分に悪影響を及ぼし、効果が発揮されないおそれがあります。展着剤を混用しなくても十分な効果が期待できます。



蚕毒事故回避のための注意事項



**ブルート[®]MCはごく低濃度でも蚕に影響があります。
不適切な使用をされますと、重大な蚕毒事故を
引き起こす可能性があります。**

ブルート[®]MCは、ブルートクラブ会員と認定された生産者様だけがご購入・ご使用いただけます。
会員認定には「安全使用に関する説明会」の受講と、所定の審査が必要です。

注文の際にはブルートクラブ会員証を提示していただきます

説明会で配布いたしました「蚕毒事故回避のための使用上の注意」を
再度熟読いただいた上でご使用をお願い致します。

- **使用制限地域内では絶対に使用しない!**
- **第三者に譲渡・転売・貸し渡ししない!**
- **空容器は全量回収するので、絶対に個人で燃やさない!***

*ブルート[®]MCの容器に限らず、農薬容器を「野焼き」することは法律で禁止されています。

その他、「蚕毒事故回避のための使用上の注意」に記載の事項をお守り下さい。

使用前にラベルをよく読んでください。

ラベルの記載以外には使用しないでください。

小児の手の届く所には置かないで下さい。

空容器は回収します。回収の日時・場所・方法については販売店の指示に従って下さい。